



Title	ChatGPT Plus 体験者のレポート
Author(s)	三隅, 健一; 森, 菜摘; 佐々木, 詠梨; 山田, 恵里; 得能, 由貴; 有安, 友美; 中島, 司典; 工藤, 茜; 河野, 由香里; 佐々木, 翼; 堀越, 邦恵; 原, 亜喜子
Issue Date	2024-02-21
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/91307">http://hdl.handle.net/2115/91307</a>
Type	report
Note	国立大学図書館協会地区協会助成事業北海道地区協会令和5年度企画事業「Chat GPTを使い倒そう」令和6年2月21日（水）13:20-16:10.北海道大学附属図書館本館 4階大会議室. 主催：国立大学図書館協会北海道地区協会. 登壇者以外によるレポート.
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	1_Misumi.pdf (北大・三隅健一_ChatGPT体験レポート)



[Instructions for use](#)

# ChatGPT Plus 体験レポート

2024/01/30

北海道大学・三隅健一

# 役立つと思われる事例①

## 概要

Mermaidのコード作成をやってもらい、そのまま使えるものが返ってきた。

## 入力例

Mermaidのシーケンス図を作ってください。サーバEZ, OP, SP, DB, RDS が参加者です。EZ からOPにID/PWDが送信されます。OPからSPにID/PWDが送信されます。SPは、利用者IDパターンがLの場合はDBにID/PWDを送信して、DBからの返答として認証結果を受け取り、利用者IDパターンがRの場合はRDSにID/PWDを送信してRDSから認証結果を受け取ります。そのあと、認証結果がSPからOPへ、OPからEZへ返されます。

## 回答例

了解しました。以下は、指定されたシナリオに基づいて作成したMermaidのシーケンス図のコードです。このコードは、Mermaid互換のツールやエディタで視覚的な図に変換できます。

```
sequenceDiagram
    participant EZ
    participant OP
    participant SP
    participant DB
    participant RDS

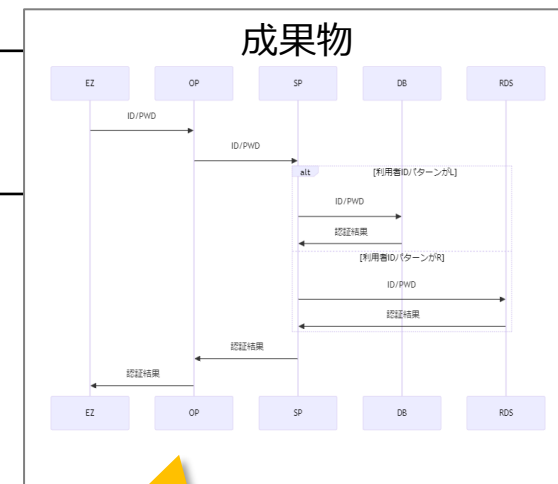
    EZ->>OP: ID/PWD
    OP->>SP: ID/PWD

    alt 利用者IDパターンがL
        SP->>DB: ID/PWD
        DB-->>SP: 認証結果
    else 利用者IDパターンがR
        SP->>RDS: ID/PWD
        RDS-->>SP: 認証結果
    end

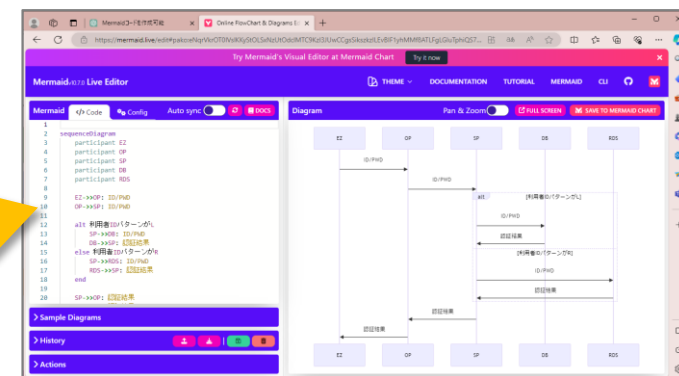
    SP-->>OP: 認証結果
    OP-->>EZ: 認証結果
```

## ポイント

- Mermaid は、テキストベースの図を作成するためのツールで、特にフローチャート、シーケンス図、ガントチャートなどの図を簡単に記述することができる。
- 今回は、サーバ間の認証にかかる通信プロセスのシーケンス図を作成してもらった。作ってほしい図を手書きしてから、その説明を「入力例」のように入れた。PowerPoint等で図を作成するより、大幅に時間を削減することができた。



ウェブのMermaidエディタにコピペ



# 役立つと思われる事例②

## 概要

講演会の司会の台本作成をしてもらった。

## 入力例

自分：講演会の司会をやることになったので、司会の台本を作ってください

ChatGPT: 了解しました。講演会の司会台本を作成します。講演会のテーマ、ゲストスピーカーの名前、講演の内容、日時、場所、その他特別なプログラム（質疑応答セッション、休憩時間など）について教えていただけますか？これらの情報があれば、より具体的で役立つ台本を作成することができます。

自分：（テーマ等を入力）

## 回答例

司会台本：「文章の組み立てとは」講演会

オープニング (午後2時)

司会：「皆様、こんにちは。本日は『文章の組み立てとはそもそもどういうものなのか』というテーマでの講演会にご参加いただき、誠にありがとうございます。本日は、文章を取り扱う図書館員としての知識向上を目指し、貴重な学びの場を提供いたします。」

第1部：講演の紹介 (午後2時～)

司会：「それでは、第1部を開始いたします。まずは、講演者の紹介を……（略）

## ポイント

- ・ 開催する講演会に合わせた台本ができた。
- ・ 携帯電話の注意など、追加したいものは追加入力を指示した。
- ・ 話し方の雰囲気（フォーマル、カジュアル）にあわせて、口調も調整できた。
- ・ 質疑応答で人を当てるときの注意点を聞くと、10個のポイントを箇条書きで教えてくれた。

# 役立つと思われる事例③

## 概要

プログラム開発環境の設定に関するトラブルシューティング（ChatGPTによるXdebugとVSCodeのデバッグ環境セットアップ）を相談した。

## 入力例

## 回答例



あなた

vagrant, xdebug, vscode の設定がうまくいったか確認する方法を教えてください。



ChatGPT

Vagrant、Xdebug、そしてVisual Studio Code (VSCode) の設定が正しく行われているかを確認するためには、いくつかのステップを踏むことが推奨されます。これには、設定の確認から実際のデバッグセッションのテストまでが含まれます。

### 1. 設定の確認

まず、各ツールの設定が正しく行われていることを確認します。

- **Vagrant:** Vagrantfile が正しく設定されていることを確認します。特に、ポートフォワーディングや共有ディレクトリの設定が正しいかどうかをチェックします。
- **Xdebug:** php.ini（または該当する設定ファイル）で、Xdebug の設定が正しく行われていることを確認します。特に、`xdebug.mode` が `debug` に設定されているか、`xdebug.start_with_request` が `yes` に設定されているか、そして `xdebug.client_host` が適切に設定されているかを確認します。
- **VSCode:** VSCode に PHP Debug 拡張機能がインストールされていること、そして



あなた

xdebugのログに the debugging client closed the connection on socket 5 broken pipe (error: 32) とありました。



ChatGPT

Xdebugのログに「the debugging client closed the connection on socket 5 broken pipe (error: 32)」というメッセージが出力されている場合、これはデバッグクライアント（この場合はVSCode）が何らかの理由で接続を閉じたことを示しています。このエラーを解決するためには、いくつかの可能性を検討し、それぞれに対処する必要があります。

### 1. ネットワーク接続の問題

このエラーは、ネットワーク接続の問題によって発生することがあります。特に、Vagrantや他の仮想マシンを使用している場合、ネットワーク設定が適切でないこのような問題が生じることがあります。

- Vagrantのポートフォワーディング設定を再確認してください。
- 仮想マシンとホストマシン間のネットワーク接続が正常であることを確認してください。

### 2. Xdebugの設定の確認

Xdebugの設定を再度確認してください。特に、`xdebug.client_host` と `xdebug.client_port` の設定が正しいかどうかを確認します。

- `xdebug.client_host` はホストマシンのIPに設定されている必要があります。

## ポイント

- Vagrant内のXdebugとホストマシンのVSCodeを組み合わせたデバッグ環境の構築がうまくいっていなかったため、ChatGPTに相談したところ、一通りの確認事項を教えてくれた。ただし、今回は解決には結びつかなかった。
- こういった作業は、公式のオンラインマニュアルを読み込んだり、ウェブの断片的な情報をもとに試行錯誤したりして時間を費やすことが多いが、短くケリをつけることができた。
- 周りに詳しい人がいないこともあり、また（人間と違って）何度質問しても困らせることがないので助かる。